



取扱説明書

E05155-K00011-00
2025.12 発行
Ver. 3-1.02

1. はじめに

この度は、HKS CAN SMART METERをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
CAN SMART METERはCAN データを受信し、温度や圧力などメーターデータ数値へ変換・演算を行い、画面に表示させる製品です。
出荷時状態として、ISO 等で規定された OBD CAN データを送受信し、メーター表示する設定がされています。
(実際に表示できるデータ種類は、取り付け車種や年式などにより異なります)
本書は、本製品の取り扱いや初期設定された内容について記載しています。
また、Windows アプリケーション「CAN SMART METER Easy Writer」(以降 Easy Writer と記載) にて、表示方法や CAN データ情報などの設定を行うことができます。
Easy Writer にて設定できる内容や使い方等は、アプリケーション内のドキュメントにてご確認ください。
CAN の基本的な解説や、車種固有のデータの内容につきましては、お答えすることはできませんのでご了承お願い致します。

商品名	CAN SMART METER
用途	CAN データの表示
コード No.	44009-AK004(type OBDII) 44009-AK005(type F-CON V Pro Ver.3.4)

2. 目次

1. はじめに	1	9. 動作と操作方法	4
2. 目次	1	10. Easy Writer について	7
3. 安全上の注意	1	11. 故障と思う前に	8
4. 本製品の特徴	2	12. 異常・故障時の対応	8
5. パーツリスト	2	13. アフターサービスについて	8
6. 各部の名称	2	14. 本製品の仕様	8
7. 取付方法	3	15. 改訂の記録	8
8. 取付終了後の確認	3	16. 保証について	8

3. 安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。
本製品を正しくご使用いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

警告 作業者又は使用者が、死亡又は重傷を負う可能性がある場合。

注意 作業者又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合（人損）
拡大物損の発生が想定される場合（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損)）

警告

- 換気の良い場所で作業を行ってください。
換気の悪い場所で作業すると、爆発及び火災の原因となります。
- コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。
ショートなどによる火災、及び電装品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭などの異変があった場合には本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
- 作業は、車両を駐車しておける場所で行ってください。

注意

- 本製品の取付けは必ず専門業者に依頼してください。
専門外の方が作業されると、火傷やけがなどを負う恐れがあります。
- 本製品の加工・分解・改造などの誤使用及び修理は絶対に行わないでください。
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 高温になる場所・水などがかりやすい場所・湿気やほこりの多い場所を避けて取付けてください。
作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 配線は断線・ショート・誤配線のないように行ってください。
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 故障などの修理はお客様ご自身で対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動などの異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。
- コネクタを抜き差しする際は、必ずコネクタを持って行ってください。
ケーブルを引っ張ってしまつと断線の恐れがあります。
- 車両の修理や車検の際は、本製品を取り外してから、車両を業者に引き渡してください。
- 日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。

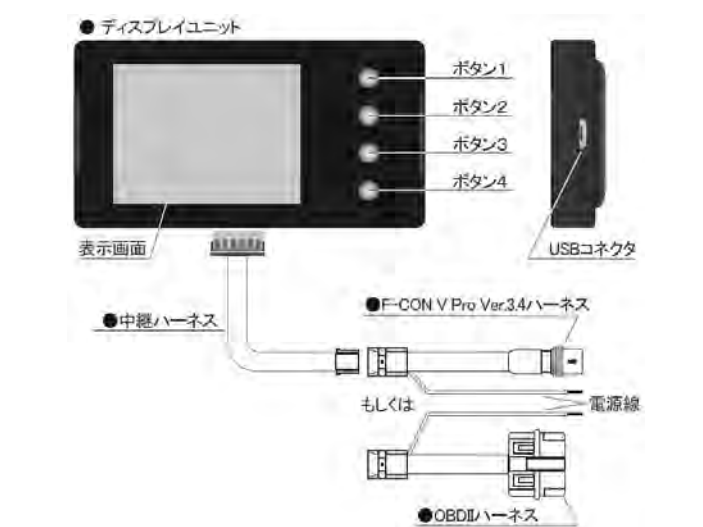
4. 本製品の特徴

- 最大 30 種類のメーターデータ表示
最大 30 種類のメーターデータを入力することができ、その中で任意のものを選択しメーター表示することができます。
1 画面では最大 4 種類のメーターデータを選択し、同時表示できます。
- 画面の簡単切替
4 つの画面種類（以降表示フォームと記載）と、各表示フォームに 4 つのメーターデータ（以降表示シートと記載）を設定することができます。それらをボタンで簡単に画面切替することができ、任意のデータを素早く見ることができます。
- ワニング機能
メーターデータ数値が上限値設定値を上回ったとき、または下限値設定値を下回ったときには、音と文字色で警告を行うことができます。
- ピークホールド機能
入力されたメーターデータ数値の最大値及び最小値のピーク値を表示することができます。
- CAN 送受信機能
CAN 通信速度は 500kbps 固定です。
CAN データ情報は、「Easy Writer」で設定できます。
・CAN 送信
時間周期、もしくは手動操作で任意の CAN データを送信することができます。
・CAN 受信
任意の CAN データを受信し、値を変換演算することができます。
- CAN ライン終端抵抗機能
本装置内に CAN ラインの終端抵抗が内蔵されており、設定にて ON もしくは OFF させることができます。

5. パーツリスト

1	2	3	4
ディスプレイユニット	中継ハーネス	OBDII ハーネス	F-CON V Pro Ver.3.4 ハーネス
1 枚	1 枚	44009-AK004 のみ付属 1 枚	44009-AK005 のみ付属 1 枚
5	6	7	8
両面テープ	スプレー	タイラップ	取扱説明書
1 枚	1 枚	4 枚	日英 各 1 枚

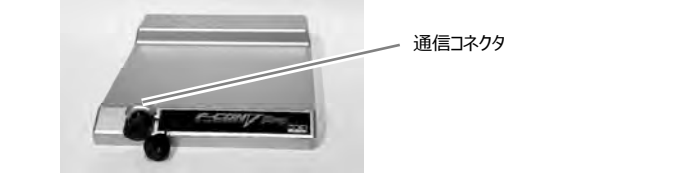
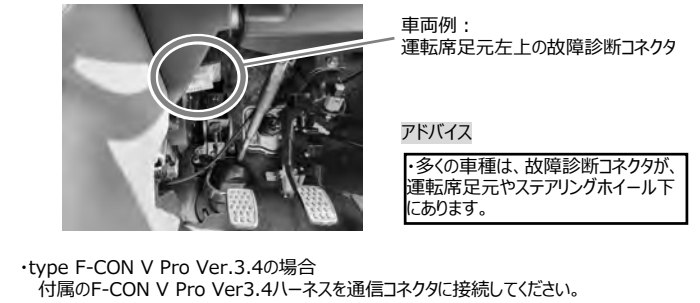
6. 各部の名称



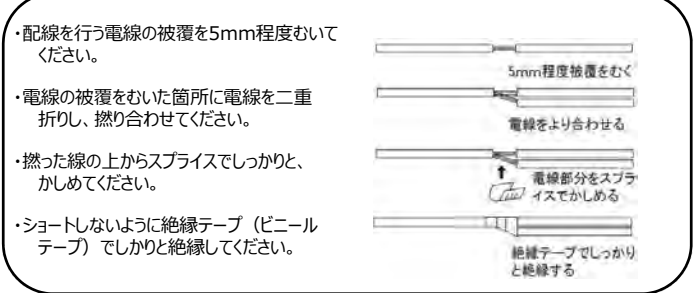
7. 取付方法

- ①バッテリー端子の取り外し
・バッテリーのマイナス端子のターミナルを取り外してください。
- ②コネクタの接続
・ディスプレイユニットに中継ハーネスを接続してください。
・中継ハーネスとOBDIIハーネスまたはF-CON V Pro Ver.3.4を接続してください。

・type OBDIIの場合
付属のOBDIIハーネスを車両の故障診断コネクタに接続してください。



- ③電源線の接続
・車両のイグニション電源線もしくはアクセサリ電源線に、OBDIIハーネスもしくはF-CON V Pro Ver.3.4ハーネスの電源線（赤色）をスプライスで接続してください。



注意

電源線は常時電源線（常にバッテリー電圧が加わっている電線）に接続しないでください。
バッテリー上がりの原因になります。

- ④ディスプレイユニットの取り付け
・ディスプレイユニットの取付位置を決定してください。

注意

エアバックの上、もしくは前方に取り付けけないでください。事故など展開時に、けがのおそれがあります。
高温になる場所（ダッシュパネルの上やヒーターの熱風が直接当たるなど場所）に取り付けけないでください。故障の原因となります。

- ・取付位置の汚れ（ほこりや油分等）を中性洗剤等で取除いてください。
- ・両面テープを使用してディスプレイユニットを固定してください。
- ・ハーネスが運転の妨げとならないよう、付属のタイラップで車両に確実に取り付けてください。

注意

部品の脱落や配線のおそびなどで、運転の妨げ（運転者の手や足に邪魔）とならないよう取り付けてください。事故の原因となります。

- ⑤取付後の作業
バッテリーのマイナス端子のターミナルを元通りに取り付けてください。

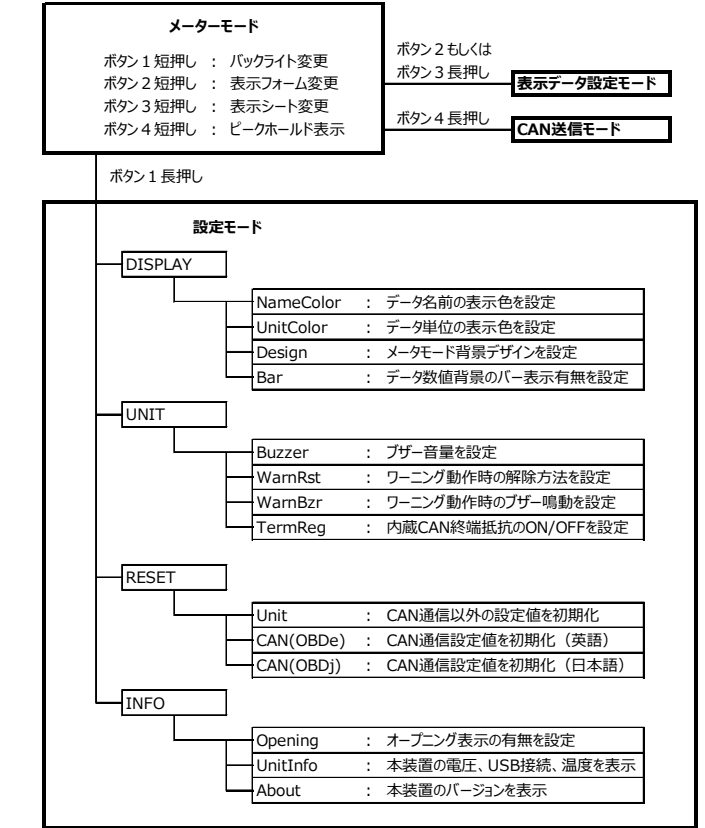
8. 取付終了後の確認

確認は停車状態で行ってください。
エンジンを始動し、車両のメーターにエンジンチェックランプ等の警告灯が点灯もしくは点滅していない事を確認してください。
ディスプレイユニットの表示画面にメーター表示されることを確認してください。

9. 動作と操作方法

電源が入るとオープニング画面が表示され、その後メーターモード（メーター表示）になります。
本装置の各種設定など操作を行うには、メーターモードでボタン操作をすることにより行います。

- 動作概要図（各モード移行図）



- ボタン操作
長押し：ボタンを1秒以上押し続ける
短押し：ボタンを短い時間押して放す
- | | |
|-------|------------------|
| ボタン 1 | ●決定 |
| ボタン 2 | ▲上方向へ選択移動、設定値を増加 |
| ボタン 3 | ▼下方向へ選択移動、設定値を減少 |
| ボタン 4 | ✕キャンセル、戻る |

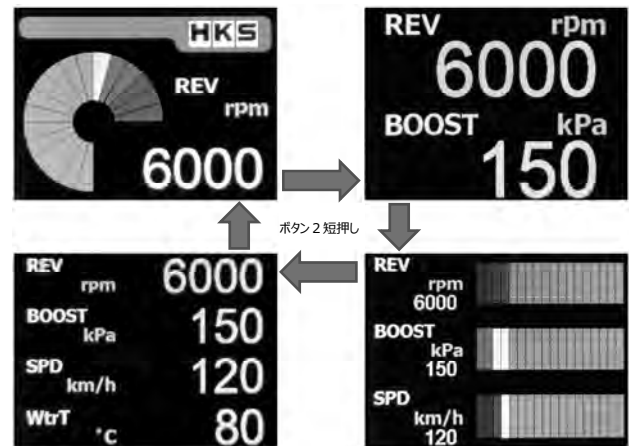
- ①メーターモード
メーターモードは、設定されたメーター表示方法およびCANデータ情報により、CAN受信データをメーターデータ数値に変換・演算し、メーター表示します。
メーターデータ数値は、入力値が最大値より大きい場合は最大値を、最小値より小さい場合は最小値を表示します。
メーターデータ名の初期設定は、「データ名(E)」、メーターデータ数値の表示色は「YLW:黄色」です。
メーター表示は4種類の表示フォームがあります。
また、表示フォーム毎に表示シートが4つあります。
ボタン 2 を短押しすると、表示フォームを変更します。
ボタン 3 を短押しすると、表示シートを変更します。

●選択（表示）できるデータ	データ名:E	データ名:J	データ単位	最大値	最小値
エンジン回転	REV	カイテン	rpm	8000	0
インマニ圧力	BOOST	ブースト	kPa	154	-101
エアフロ空気流量	AFMQ	エアフロ	g/s	19999	0
水温	WtrT	スイオン	°C	120	-40
吸気温	IntT	キュウキ	°C	120	-40
アクセル開度	AccP	アクセル	%	100	0
スロットル開度	ThrP	スロットル	%	100	0
点火時期	IGN	デンカ	°	63.5	-64
バッテリー電圧	BAT	デンアツ	V	16	0
長期燃料調整1	Fuel1L	ホセイ1L	%	99.2	-100
短期燃料調整1	Fuel1S	ホセイ1S	%	99.2	-100
車速	SPD	シャソク	km/h	150	0

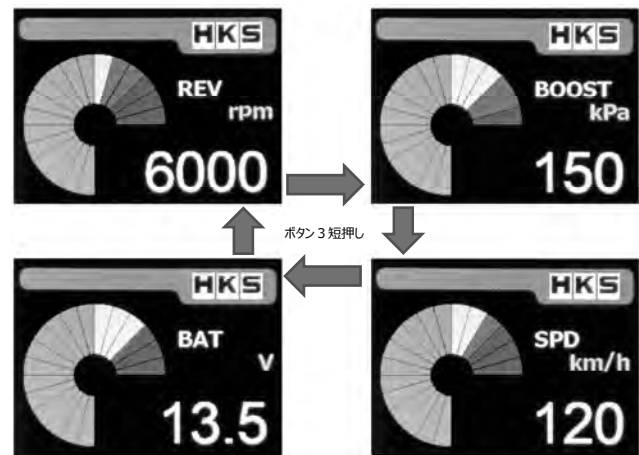
●選択できる表示色	選択名	色
	WHT	白
	YLW	黄
	GRN	緑
	BLU	青
	LGR	草
	PNK	桃
	CYN	シアン
	MGT	マゼンタ

●選択できるデザイン	選択名	背景デザイン
	BLK	黒
	CRB	カーボン調
	HKS	HKS
	BLKf	黒+フレーム
	CRBf	カーボン調+フレーム
	HKSf	HKS+フレーム

- 表示フォーム
メーター表示は4種類の表示フォームのいずれかを選択し見ることができます。
 - ・フォーム1：1つのデータをサークル型メーターと併せて表示します。
(全18段階、1～12は緑、13～15は黄、16～18は赤)
 - ・フォーム2：2つのデータを大きく表示します。
 - ・フォーム3：3つのデータをバー型メーターと併せて表示します。
(全20段階、1～16は緑、17～18は黄、19～20は赤)
 - ・フォーム4：4つのデータを表示します。



- 表示シート
各表示フォームに4つの表示シートがあり、それぞれの表示シートにどのメーターデータを表示させるか、設定できます。
写真の例では、フォーム1の、シート1がエンジン回転(REV)、シート2がインマニ圧力(BOOST)、シート3が車速(SPD)、シート4がバッテリー電圧(BAT)の設定となります。



アドバイス

- ・サークル型またはバー型メーターは、設定されている最大値及び最小値を全段階数で分割し、実際のメーターデータ数値分を段階表示します。

- バックライト変更
ボタン1を短押しすると、画面のバックライトの明るさが、明→暗→明→暗・・・と切り替わります。

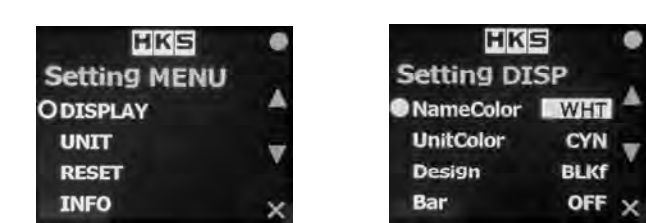
- ピークホールド表示
ボタン4を短押しすると、メーターデータ数値がピークホールド表示に切り替わります。
メーターデータ数値の上に赤色バーが表示され、起動時もしくは前回ピークホールド表示してから入力されたメーターデータ数値の最大値を表示します。
さらにボタン4を短押しするとメーターデータ数値の下へ赤色バー表示が切り替わり、メーターデータ数値の最小値を表示します。
もう一度ボタン4を短押しすると、通常のメーターモード表示に切り替わります。

アドバイス

- ・CAN受信が無いデータは、赤色数字で0が表示されます。
車両側から対象となるデータが発信されていない、表示することができないデータです。

- ワーニング動作
メーターデータ数値が警告上限設定値を上回ったとき、または警告下限設定値を下回った時にワーニング動作として警告を知らせます。
警告方法は、ブザー音が鳴動すること、及びメーターデータ数値が赤色表示に切り替わります。
初期値はワーニング動作にならない設定となっています。
ワーニング動作を行いたい場合は、Easy Writerで設定を行います。詳しくは、Easy Writerアプリケーション内のドキュメントをお読みください。

- ②設定モード
メーターモードで、ボタン1を長押しすると、設定モードに移行します。
設定モードは、CAN SMART METER動作や表示の設定を行います。
設定モードは、階層構造にて項目のメニューがあります。
設定モードになると、はじめに項目の左側に○が表示され、変更する項目を選択する表示になります。
変更する項目をボタン2もしくは3を短押しで選択します。ボタン1短押しで選択決定します。
選択決定すると、メニュー下階層へ移行、もしくは項目の変更開始となります。
変更開始は、項目の左側に●が表示、かつ現在の設定値が反転表示されます。
変更開始では、ボタン2もしくは3を短押しすることにより設定値が変わります。
変更した設定値をキャンセルする(元の状態に戻す)場合はボタン4を短押ししてください。
選択決定が解除され、選択決定前の状態に戻ります。
変更値を変更決定したい場合にはボタン1を短押ししてください。
設定する項目を選択する画面でボタン4を短押しすると、メニュー上階層へ移行します。



設定モードメニュー画面例(項目選択)

- [DISPLAY]** → **[NameColor]**
 - ・データ名表示色を設定します。
 - ・データ名表示色設定は、全データ名共通です。
 - ・選択できる色は、4ページを参照してください。
 - ・初期設定色は「WHT:白」です。
- [DISPLAY]** → **[UnitColor]**
 - ・データ単位表示色を設定します。
 - ・単位表示色設定は、全データ単位共通です。
 - ・選択できる色は、4ページを参照してください。
 - ・初期設定色は「CYN:シアン」です。
- [DISPLAY]** → **[Design]**
 - ・画面背景デザインを設定します。
 - ・選択できるデザインは、4ページを参照してください。
 - ・初期設定デザインは「HKSf: HKS+フレーム」です。
- [DISPLAY]** → **[Bar]**
 - ・フォーム2と4でメーターデータ数値の背景に、数値の大きさに合わせたバー表示をする(ON)かしない(OFF)かを設定します。
 - ・バー表示の長さは、内部で設定されている最大値と最小値を10分割した割合の長さで表示します
 - ・初期設定は「OFF」です。

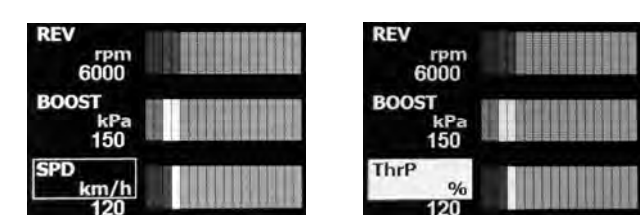
- [UNIT]** → **[Buzzer]**
 - ・ブザー音の大きさを設定します。
 - ・0(ブザー音無し)から10(ブザー音最大)まで設定できます。
- [UNIT]** → **[WarnRst]**
 - ・ワーニング動作となり、その後、ワーニング条件から解除された場合に、ワーニング動作が自動(AUTO)で解除するか、手動(MANUAL)＜ボタン4短押し＞で解除するかを設定します。
 - ・初期値は「AUTO」です。
- [UNIT]** → **[WarnBzt]**
 - ・ワーニング動作中にブザーを鳴らす(ON)か、鳴らさない(OFF)かを設定します。
 - ・初期値は「ON」です。
- [UNIT]** → **[TermReq]**
 - ・CANラインの終端抵抗を有効とする(ON)か、無効とする(OFF)か設定します。
 - ・初期値は「OFF」です。(内部の終端抵抗をCANラインに接続しない)
 - ・基本的には「OFF」の設定でご使用ください。

- [RESET]** → **[Unit]**
 - ・表示や動作に関する設定(設定モードで変更できる値全て)を初期値に戻します。
- [RESET]** → **[CAN(OBDe)]**
 - ・CANデータの設定を初期値に戻します。
 - ・データ名は、英表示になります。(データ名:E)
- [RESET]** → **[CAN(OBDj)]**
 - ・CANデータの設定を初期値に戻します。
 - ・データ名位は、カタカナ表示になります。(データ名:J)

- [INFO]** → **[Opening]**
 - ・起動時のオープニング動作のする(ON)か、しない(OFF)かを設定します。
 - ・初期値は「ON」です。
- [INFO]** → **[UnitInfo]**
 - ・CAN SMART METERの電圧、USB電源接続有無、温度を表示します。
 - ・ボタン2または3を短押しすると、温度単位が摂氏(℃)と華氏(℉)が切り替わります。
- [INFO]** → **[About]**
 - ・CAN SMART METERについてファームウェアバージョンを表示します。

- ③表示データ設定モード
メーターモードで、ボタン2もしくは3を長押しすると、表示データ設定モードに移行します。
表示データ設定モードは、表示させるメーターデータ種類の設定を行います。
表示データ設定モードになると、表示データ名及び単位表示部に□枠が付き表示されます。
表示データ種類を変更したい項目に、ボタン2もしくは3を短押しで□枠を選択移動してください。
選択後にボタン1を短押しで選択決定します。選択決定すると、表示データ名及び単位表示部が反転表示となります。
選択解除やメーター表示モードに戻りたい場合はボタン4を短押ししてください。

- 選択決定後に、ボタン2もしくは3を短押しすると、表示できるデータ種類が切り替わります。
表示したいデータ種類となるまで繰り返しボタン2もしくは3を短押ししてください。
表示したいデータ種類となりましたら、ボタン1を短押ししてください。選択決定されます。



表示データ設定画面例(項目選択中)

- ④CAN送信モード
メーターモードで、ボタン4を長押しすると、CAN送信モードに移行します。
CAN送信モードは、CAN手動送信できるデータがあらかじめ設定されている場合に、ボタン操作にて、CANデータを送信することができます。
CAN送信モードでは、はじめに送信データ名が表示されます。
CAN手動送信できるデータが複数ある場合には、ボタン2もしくは3を短押しすると、送信するデータの選択が切り替わります。
ボタン1を短押しすると、選択決定されます。
選択決定されると、「OK」の確認メッセージが表示され、再度ボタン1を短押しすると、設定された内容のCANデータを送信します。
送信しない、もしくはメーターモードへ移行する場合はボタン4を短押ししてください。
CAN手動送信データの初期入力値は、規格フォーマットのECU/DTCクリアするデータが、一つ設定されています。
・送信データ名:「DTCclr」



送信データ選択画面例(項目選択中)

1 0. Easy Writer について

- Easy WriterはCAN SMART METERの、表示方法やCAN送受信の設定を行うWindowsアプリケーションです。
Windows/パソコンとUSB接続することにより、設定値の読み込みや書き込み操作が行えます。
ディスプレイユニット横にマイクロUSB端子があります。出荷時はキャップが取り付けてありますのでキャップを取り外し、データ通信が行えるUSBケーブルをWindows/パソコンと接続してください。

- Easy Writerは、下記のURLよりダウンロードしてご使用ください。
<https://www.hks-power.co.jp/aftersupport/easywriter/index.html>

- Easy Writerで設定できること(詳しくはアプリケーション内のドキュメントをお読みください)
 - ①CAN SMART METER動作や表示の設定
 - ②CAN送信設定
 - ③CAN受信設定
 - ・それぞれデータ数値の表示色など

- CAN SMART METERはUSB/パワーのみでも作動します。
ディスプレイユニットを車両から取り外し、車両外でもWindows/パソコンと通信させることができます。

1 1. 故障とと思う前に		
本製品が正常に作動しない場合には、故障と思う前に下記症状と照らし合わせて、配線等の確認をしてください。		
症状	原因	対応
オープニング画面で停止する	CAN受信データが無い、もしくは動作に必要なデータが含まれていない	取り付けた車両が対応車種か確認 ボタン1を短押しするとメーターモードに移行
モニターモードで、メーターデータ値が赤色で表示され、変わらない	CAN受信データでその値を演算するデータが含まれていない	取り付けた車両が対応車種か確認 ボタン1を短押しするとメーターモードに移行
Easy Writerアプリケーションで通信できない	USB通信が行えていない	USBケーブルを一度抜き、正しく挿しなおす USBケーブルが通信可能な物か確認(充電専用ケーブルではないか)

1 2. 異常・故障時の対応

警告
●使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

注意
●故障等の修理は お客様自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。 ●走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

故障の際は、「保証登録」完了後、お買い上げの販売店にシリアル No.をお伝えの上、修理を依頼してください。詳しくは、「1 6. 保証について」をご覧ください。

1 3. アフターサービスについて

本製品に関するお問合せ、及び紛失部品等の購入、保証期間後の修理、また、お客様の不注意等により修理が必要となった場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

1 4. 本製品の仕様

- 本体動作電圧 DC10V ~ DC16V
- 動作可能温度 -20 ~ 70℃
- 最大消費電力 2W
- 外形寸法 48.0 * 90.0 * 17.0 mm

1 5. 改訂の記録

Ver.	年/月	記載変更内容
3-1.01	2025/9	初版
3-1.02	2025/12	選択(表示)できるデータの変更